

今月のグレース
Monthly Grace

花粉症と果物アレルギー(OAS)

この時期、くしゃみ、鼻水、目のかゆみ等の花粉症の症状に悩まされている方が多いと思います。

当院でも、スタッフ全員花粉症・・・この時期の花粉症の主な原因はご存じのとおり杉、ヒノキです。果物は何の関係があるのか???と思われると思います。

ある種の食べ物(多いのが果物)を摂取すると15分～30分後に口の中が腫れぼたくなり、痒み、のどのイガイガ感といった症状を起こすアレルギーがあります。

口腔アレルギー症候群(OAS)という病気です。原因となる果物に多いのが、リンゴ、桃です。この病気のきっかけになるのが花粉症です。花粉症を起こすきっかけになるタンパク質の構造が、果物などに含まれる構造と同じ部分があるために、花粉症も起こすし果物などの食べ物にも反応を起こすというアレルギー症状です。

症状が強いと血圧が低下、めまい、意識消失というアナフィラキシーを起こす可能性もあります。少し前に話題になった、お茶の成分の入っている石鹸を使っていた患者さんが小麦アレルギーを起こすようになったのも同じ原理です。



検査方法：プリックテスト(少し皮膚を引っ搔いて原因物質を傷の上に乗せ反応が出るか見る)、採血などがあります。ただ、原因物質食べてから上記のような症状が出る食べ物は原因として十分考えられるので、あえて調べなくても大丈夫です。

このアレルギーは、年々いろいろな食べ物に対して反応が出てきます。

例として私(赤坂)は、10代後半で花粉症発症、その数年後には果物アレルギーとしてまず桃が発症 → サクラambo → トマト → 梅 等・・・

一番の治療は、原因となる食べ物を避けることです。